

アーティストのブローチ展 vol.2

梶浦聖子 / 近藤南 / 坂田あづみ / 西館朋央

『作品の一部を身につける』
をテーマにし、作品展覧会とブローチの販売
を同時に開催いたします。

2017年2月11日(土)～25日(土)

open: 月・火・土・日 12時～18時

水 15時～22時

close: 木・金



Art & Brooch vol.2
2017 / 2 / 11 ~ 25
at *Hasu no hana*



会場: Gallery Hasu no hana

大田区鵜の木 1-11-7

e-mail: hasucafe@sw.sub.jp

tel: 03-3759-8470

アクセス: 東急多摩川線鵜の木駅より徒歩1分。
改札を出て左方向へ進み、交番のある信号を渡り
さらに左に進み、長屋商店の5軒目です。



梶浦聖子 Seiko Kajiura

2003年東京藝術大学大学院鑄金専攻修了。ポーラ美術振興財団、文化庁の助成によりインドネシア国立芸術大学で彫刻、鑄造技法について学ぶ。ジョグジャカルタで鑄造工房 Jagung Bakar を立ち上げ、2011年までインドネシアを拠点に制作、発表を行う。帰国後、ハクピント鑄造工房を設立。切り取った物語の一瞬に金属を注ぎ込み、ブロンズ彫刻、インスタレーション作品を制作し各地の展覧会で発表している。



坂田あづみ Azumi Sakata

武蔵野美術大学油絵学科版画コース卒業後、1997年イギリスロイヤルカレッジ・オブ・アート (RCA) 版画コース修了。「人間への愛おしさ」をテーマに主に布や糸、刺繍を使った作品を発表。日常で感じたきもちを、例えば「さなぎ」や「ミイラ」、「目に見えないけれど存在しているなにか」などのモチーフに置き換え、それらを布に描いたり、刺繍をほどこしたり、断片パーツをコラージュする事で「inner eye(内なる目)」でみた風景を表現し、そこから人にとっての「しあわせの条件」を探し求めている。



近藤南 Minami Kondo

2013年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。主に陶や木、アクリルミラー等を用い、見た夢の内容や自身の身に降り掛かった体験を元に煙に巻かれたような彫刻作品を制作。本展を機にオリジナルブランド DROOM を立ち上げ、アクセサリー、布小物、Zine などジャンルを横断した活動も展開予定。

※DROOMはオランダ語で夢の意味。



西館朋央 Tomoo Nishidate

大学で経済を学んだ後、音楽制作会社に勤務し、作曲や音響効果の仕事に携わる。退社後、イギリス旅行の際に路上で拾い集めたゴミのコラージュ日記を作り始める。以後、作家として展覧会を行うほか雑誌やCD、広告のグラフィック、展示会などの空間演出や店舗のアート制作、ディスプレイなど、多様な媒体で活動。

